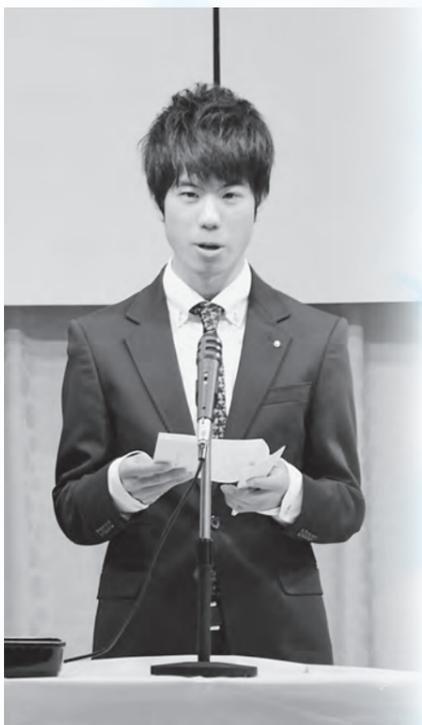


# はたちの夢

半澤 悠司さん

本日は、成人式を無事迎えることができた私たちのために、このような式典を開いてくださり、誠にありがとうございます。また、ただ今はたくさんのお祝いや激励のお言葉をいただきました。また、町長様をはじめ、ご来賓の方々、さらにご来席に新成人を代表しまして心より感謝申し上げます。



思えば、生まれてから中学時代、高校時代を1年間で、ここ広野町で過ごしてきました。その後は、東日本大震災の影響で隣のいわき市で生活することになり、現在は大学に通うため東京で一人暮らしをしています。今までの生活の中ではなかなか経験することができなかったようなこと、自分がやりたかったことをたくさん経験することができており、大変だと思いつとが多いですが、とても充実した毎日を送っております。

# はたちの夢

澤村 有希さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、素晴らしい式典を開いてくださり、誠にありがとうございます。また、町長様をはじめ、ご来賓の皆様よりご祝辞をいただき、心より御礼申し上げます。



私たちは20歳となり、成人としての第一歩を踏み出しましたが、花に例えるならまだ蕾のようなものです。この先の人生において、順風満帆とは行かず、多くの壁にぶつかり、辛いことや苦しいこともあると思います。しかし、これから時

す。

このように、私が今、自分の夢に向かって充実した毎日を送っていただけるのは、私をここまで育ててくれた両親がいてくれたおかげだと思えます。私は小さい頃から両親にはたくさん迷惑をかけてきました。日常生活の中や、学校の成績など、数えきれませんが、そんな私を支え続けてくれたのはまぎれもなく両親でした。

また、学校や部活などの楽しいことや辛いことなどの思い出には必ず仲間達がいまいました。一緒に学んだり、汗を流したりしてきたことはしっかり覚えていて、今頑張れている源になっています。

これまで生きてきた20年間で、私はたくさんの人達と関わり、そして支えてもらってきました。しかし、いつまでも甘えていたわけにはいきません。今日、この日を契機に少しでも周り

代を担う一社会人として、自覚と責任を持ち、常に前向きに歩みながら、個性ある大輪の花を咲かせていきます。

私は現在福島を離れ、千葉県の大学で看護師になるための勉強をしています。今では一年次の基礎教養や看護の基礎となる講義が、二年次に入り、看護学に特化したものへと変わり、より高度な専門領域に足を進めています。昨年の7月には、実際の医療現場で実習をしました。患者さんという対人との関わりの中で

は、単なる看護技術だけではなく、個性を考慮しながら、根拠に基づいた看護を提供することの重要性を学びました。このことは、学校の講義や演習では学ぶことのできなかつたことであり、患者さんの気持ちや考え、思いや要望を把握し、その人にあった最善の方法でケアを変えていくという、看護の深さを実感しました。同時に、学ぶことへの楽しさを知り、より一層看護師への夢が強くなりました。

このような一つひとつの経験や身につけた知識は、確実に将来につながっていくと思います。自分は今何ができ、何をしなければならぬかを常に考え、一日一日を意義あるものにして、夢を叶えたいと思います。

最後になりましたが、今まで育ててくれた両親をはじめ、支えていただいた全ての方々に感謝の意を表して、成人代表のあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

# 謝辞

を支えていけるような立派な大人になるべく努力していきたいと思います。最後になりましたが、これまで育ててくれた両親を始め、ここにいる仲間達、

今まで支えてくださった方々に心から感謝の意を表して、成人代表のあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

青木 僚平さん

本日、私たちが成人として新たな人生を踏み出すにあたり、かくも盛大な式典を挙行され、私達の門出をお祝いくださいましてありがとうございます。新成人一同を代表して、心より御礼申し上げます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様をはじめご来賓の方々、ご出席をいただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。新成人としての喜びを噛みしめます。

本日、私たちが成人として新たな人生を踏み出すにあたり、かくも盛大な式典を挙行され、私達の門出をお祝いくださいましてありがとうございます。新成人一同を代表して、心より御礼申し上げます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様をはじめご来賓の方々、ご出席をいただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。新成人としての喜びを噛みしめます。

よろしくお願ひします。と申しましたが、なんにせよ若輩者であります。困難にぶつかって、決意のくじける事があるかもしれないかもしれません。その時は今一度私たちにお手をお貸しください。皆様方のご指導とご鞭撻べんたつをお願い申し上げます。

東日本大震災の経験からも私たちの前途が平穩無事ではないことは十分承知しております。皆様のお励ましと、お導きを杖として一歩一歩歩み、い

つの日か顧みて、よくぞ歩いたと思える人生にしたいと思えます。

それが、本日盛大な式を挙げて出発を祝ってくださった皆様への恩返しであると思っております。

最後になりましたが、本日の式典開催にご尽力いただきました関係者の皆様、心より御礼を申し上げます。成人代表の謝辞とさせていただきます。

皆様、本日は誠にありがとうございます。

